

令和2年度 市有施設のエネルギー使用量

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

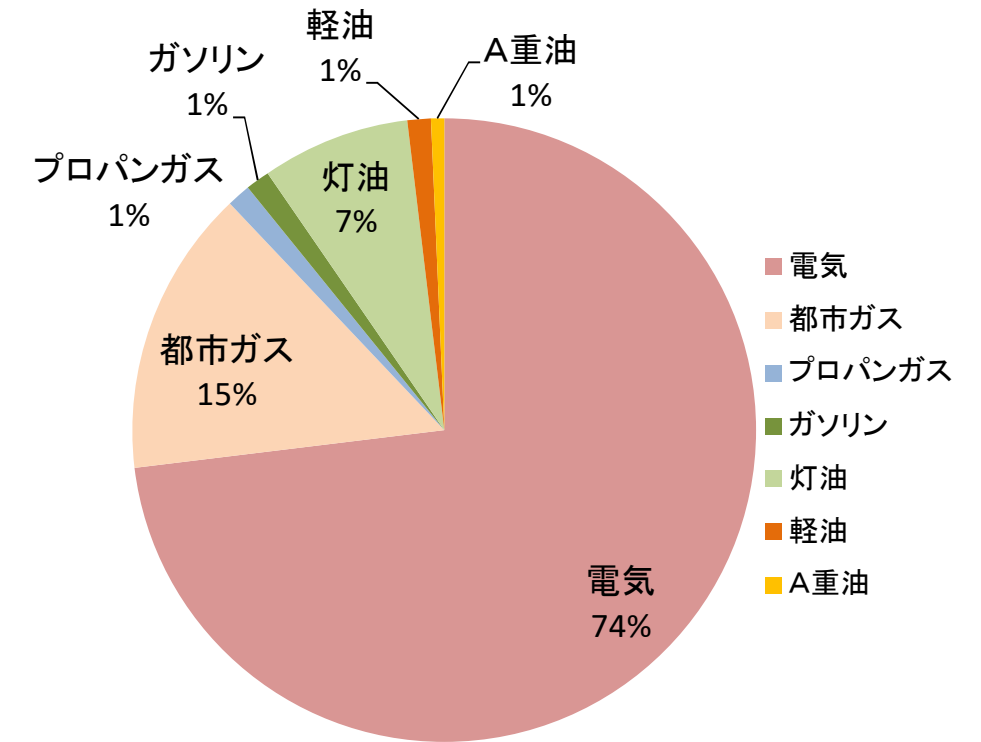
市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など:1,415施設)における電気、ガス、灯油等と、庁用車(563台)のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり

種類別	令和2年度 報告使用量	令和2年度 原油換算量(kℓ)	令和元年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) " (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電気	80,742 MWh	20,769	21,257	△ 488 (△2.3%)	74%	(増)第一学校給食センターの稼働、学校への空調設備設置数の増加(R2年度24校の増)、学校や庁舎で、換気をしながら空調設備を使用していたこと (減)大規模なイベント等を行う施設が、新型コロナウイルス感染症の感染対策の観点から、利用が制限されたこと
都市ガス	3,897,671 m ³	4,224	4,010	214 (+5.3%)	15%	(増)第一学校給食センターが稼働したこと (減)サンマリーンながので、支出抑制のため、バックアップとして待機稼働させていた都市ガスボイラーを停止したこと
プロパンガス	133,358 m ³	348	370	△ 22 (△5.9%)	1%	(減)第三学校給食センターが廃止となったこと
ガソリン	392 kℓ	350	375	△ 25 (△6.7%)	1%	(減)新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、イベントが中止となったことや、ウェブ会議の普及
灯油	2,315 kℓ	2,192	2,164	28 (+1.3%)	7%	(増)学校や庁舎で、換気をしながら暖房器具を使用していたこと (減)観光施設等の利用者の減少
軽油	346 kℓ	337	309	28 (+9.0%)	1%	(増)学校への空調設備設置数の増加(ディーゼル発電電源、R2年度6校の増加)、学校において、換気をしながら同設備を使用していたこと
A重油	197 kℓ	198	413	△ 215 (△52.1%)	1%	(増)水道施設で、特高設備の点検を行った際の運転を発電機で賄ったこと (減)第三学校給食センターが廃止となったこと
合計		28,417	28,898	△481 (△1.7%)	100%	

令和2年度 市有施設の
エネルギー種類別構成比(原油換算)



(3) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

令和2年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり

年度	使用量 (長野市民病院を含まない)
H28	28,674 kℓ
H29	29,262 kℓ
H30	29,480 kℓ
R1	28,898 kℓ
R2	28,417 kℓ

(kℓ) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

